

平成27年度10月（第11回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

平成27年10月30日（金） 14時～14時55分

2 場 所

教育委員会事務局2階会議室

3 出席委員

永岡委員長、河村委員、寺崎委員、中西委員、能美教育長

4 事務局

武居教育部長、石丸学校教育課長、弘実学校教育課主幹、森田文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、末岡図書館長、呉橋学校給食センター所長、蔵下教育総務課長、縄田地域づくり推進課長、影土井経理係長

5 教育長報告

- (1) 学校給食における異物混入について
- (2) 平成26年度児童生徒の問題行動等の諸問題及びいじめに関する調査結果について
- (3) 山口県中学校体育大会について
- (4) 秋の文化関係の行事のお知らせについて

6 議 事

(1) 報 告

ア 報告第1号 平成26年度主要施策の成果について

(ア) 概 要

平成26年度主要施策の成果について、事務局より報告。

(イ) 内 容

上記のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

主要施策の成果について、7月に報告のあった事務事業評価報告書にも関連するものか。

② 回 答

「教育委員会の重点政策」及び「事務事業評価」に関連し、252事業のうち、主要な事業について記載しているものである。

① 意 見

記載のうち、小中学校の並びについて、例えば、島田小と上島田小が離れて記載されているなど、小中連携という意味合いからも、中学校区ごとにある程度まとめられた方が良いのではないかと。

② 回 答

従前より建制順にて記載しているが、中学校区ごとにまとめたほうがわかり易い内容については、表記方法について今後、検討していきたい。

① 意 見

先進地視察について、小中連携、小中一貫教育をテーマに永く視察研修を実施しているが、今後は少子化等により児童生徒数が減ってきている現状も踏まえ、こうした研修に対する成果を表していく必要があると思う。

また、外国語教育が楽しいと回答した児童の割合が98.5%という結果には驚かされた。

② 回 答

小学校における外国語教育では、特に外国語に興味、関心を持たせることに重点を置いており、本市が雇用するALT3名については、そうした技能とともに、非常に優れた指導力、発想力のある先生方であることが、こうした結果に繋がっていると思われる。

① 意 見

学校給食における地場産食材の使用率について、平成26年度の19.7%（光市産食材使用率）及び55%（山口県産（光市産含む）食材使用率）といった数値は、目標に対してどうか。

② 回 答

目標については、前年度実績の使用率を上回ることをしている。平成26年度については新学校給食センターが稼動に伴う数値である。

また、光市の農業には、少量多品目生産という特徴から、学校へ提供する食材料量を確保する必要があり、大量栽培等について農事組合法人等にも依頼していくことにより、使用率も上がってくるものと考えている。

① 意 見

現状では、まだ目標に達していないものと理解してよいか。

② 回 答

現状には満足しておらず、将来的に使用率を上げていけるものと考えている。

イ 報告第2号 区域外就学の承認について

（ア）概 要

区域外就学の承認について、事務局より報告。

（イ）内 容

区域外就学の協議及び申請のあった2名について、承認した。